

たばこ税から分かる税金の大切さ

斜里町立斜里中学校 二年 平田 最

私は税金について「難しそう」「めんどくさい」だとか「日本で安全に生活するために納めなきゃいけないお金」などのイメージを正直持っている。この作文を書くために税金について調べると興味深い税に目を引かれた。それは「タバコ税」という税金だ。私はタバコ税について調べてみることにした。

調べた結果、タバコ税は「国タバコ税」「地方タバコ税」「タバコ特別税」の三つが合併しまとめてタバコ税と呼ばれているらしい。国タバコ税は国が課税している税金で地方タバコ税は都道府県と市区長村が課税している税金だ。調べている中でタバコ税がすごく税率が高い事がわかった。定価五八〇円のタバコを買うときに約六〇%の三七〇円が税金だと知りなぜ税率が高いんだろうと疑問に思い、まずはタバコ税の違いについて調べることにした。国タバコ税とタバコ特別税では目的の違いがあると調べている中で知った。国タバコ税と地方タバコ税の目的としては財源を確保するために徴収されており、タバコ特別税は国の借金を返済するために創設した税金していると調べる中でわかった。タバコ税はタバコの製造者や輸入者がタバコを販売するときには課税されるらしいがタバコの価格に税金が含まれているため最終的には消費者が負担しているそう。私は財源を確保したり国の借金を返すためだけではなく、タバコを買う人を減らす目的もあるのではないかと考え調べてみたところ厚生労働省が国民の健康の観点からタバコの消費の抑制することを目的とした増税をしていることがわかったが本当にタバコの消費量が抑制されているのかと疑問に思い調べてみると喫煙者割合は年々減少していることがわかった。増税だけの影響ではないと思うが、少なからず増税の影響が出ていると思う。このような国の取り組みが日本人の平均寿命を伸ばしているのかなと感じた。

私が、この作文を書くためにタバコ税について調べてみて税金は国民が安全に生活するために使われるだけではなく国民が健康に生活できるように課税されていたり、国民のために思いつて課税されていることもあるんだなと感じた。私が知らないだけでたばこ税以外にも国民のために課税されている税金や国民のためにしている取り組みがいっぱいあると思うので税金に対する理解や考えを深めることが大切だと思った。改めて税金は国民が安全に生活するための基盤を支える重要な要素だと思った。